

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	早期舌癌の腫瘍微小環境に浸潤する免疫細胞における immune checkpoint の発現の後発頸部リンパ節転移の予後因子としての意義
	研究目的	早期舌癌の後発リンパ節転移の予測因子が明らかになれば、術後の QOL の低下の危険がある潜在的な頸部リンパ節転移に対する予防的な治療を回避できる。そこで舌切除検体における腫瘍微小環境の免疫細胞の浸潤形式の後発リンパ節転移の予測因子としての意義を臨床、病理組織学的な予測因子と比較し検討する
	研究対象者	早期舌癌で根治切除を施行した症例 2000 年から 2016 年
	研究期間	西暦 2019 年 10 月 9 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	久保田 彰
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	頭頸部外科 病理診断科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし